

宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業（SERVISプロジェクト）

令和6年度概算要求額 **27億円（19億円）**

製造産業局宇宙産業室

事業の内容

事業目的

超小型・小型衛星を多数打ち上げて一体的に運用する衛星コンステレーション(※)ビジネスの世界的な進展により、宇宙産業のゲームチェンジが起こりつつある。こうした中、日本の宇宙活動の自立性を維持していくため、自動車分野等の低コスト・高性能・短納期な地上の民生技術を活用した宇宙用部品・コンポーネント(以下、「宇宙部品」という。)を実用化し、これを用いた国際的な価格競争力を有する衛星コンステレーションの構築能力を確保するとともに、衛星コンステレーション等から得られる衛星データを様々な産業・地域における社会課題解決に活用することを目的とする。

※星座・星団の意。衛星データ量の拡大と新たな付加価値提供を目指すもの。

事業概要

宇宙部品の実用化促進、衛星コンステレーションの構築及び衛星データの利用促進等を目的とし、以下の取組を行う。

①宇宙部品の試験環境整備（委託）

試験データが効率的に取得・共有される仕組みのフェジビリティスタディを行う。

②超小型衛星の汎用バスの開発・実証支援（交付金:補助（1/2又は2/3））

民生技術を活用した宇宙部品を用いた超小型衛星の汎用バスの開発や軌道上実証を支援する。

③小型衛星コンステレーション構築加速化（補助）

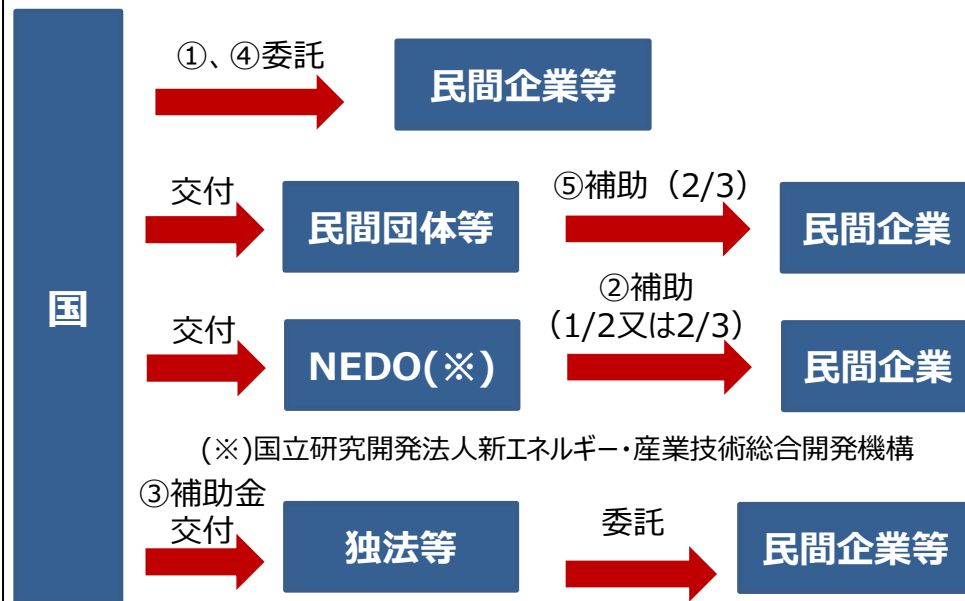
小型衛星の量産を可能とする設計システム、ツール・シミュレータ、衛星のソフトウェアに必要なコンポーネント開発、試験の自動化、部品の共通化、製造ラインの共有、人材の共有・育成等の、複数事業者の協調領域について、フェジビリティスタディを行う。

④衛星データ利用環境整備（委託）、

⑤衛星データ利用ソリューション開発支援（補助（2/3））

特定地域で様々な衛星データを調達して衛星データプラットフォームに搭載し（④）、ソリューション開発を支援する（⑤）。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

- ①令和4年度から6年度までの3年間の事業であり、最終的には宇宙部品試験データが安価・短納期で取得・共有される仕組みの構築を目指す。
- ②令和3年度から7年度までの5年間の事業であり、最終的には低価格・高性能な超小型衛星の汎用バス（100kg級、6U）の実用化数2件を目指す。
- ③令和6年度からの1年間の事業であり、最終的には衛星コンステレーションビジネスの事業化数5件を目指す。
- ④、⑤令和4年度から6年度までの3年間の事業であり、最終的には衛星データを活用したソリューションの事業化数3件を目指す。